

(別添資料) 今後の方向性を見直した事業

①「現状のまま継続」から「改善」とした事業【38事業】

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
1. 学園都市ひらかた推進協議会事務	企画課	・枚方市と枚方市内の6大学で構成した学園都市ひらかた推進協議会の主催事業から、市と各大学が、「健康・医療」や「教育・文化」あるいは「地域連携」など各大学の専門を活かした分野において協定書を締結し、各大学と市民等との交流や連携の機会の拡大を図る「学園都市ひらかた連携モデル」にシフトすることで、大学・市民・行政の3者の連携を強化していく。	平成24年度 二次対象事業
2. 施策評価運営事務	企画課	・市民が適切に評価できるアンケート手法や効果的な施策指標などの検討を進めるとともに、より制度の効果を高めていくため、市民ニーズを踏まえた施策評価の結果を次年度以降の予算・事業計画によりの確に反映できる制度への改善を図る。	平成24年度 二次対象事業
3. 市政モニター実施事業	市民相談課	・市政への市民の関心を高めるため、新たな手法として市民に気軽にアンケートに答えていただき、アンケート終了後3日以内に回答結果の公表を行う「携帯・スマホアンケート」を11月～1月に試行実施し、有効なツールについて検証を行うとともに、平成25年度も引き続き試行実施する。また、「(仮称)市民まちづくり基本条例」の制定にあたり、市民参画手法に係る検討内容と整合を図りながら、新たな市政モニタリング事業の実施に向けて取り組む。	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
4. 勤労市民会活動補助事業	市民活動課	・勤労者福祉の向上を最優先としたうえで、他市の事業を参考にしながら事業改善を検討する。	平成24年度 二次対象事業
5. 市民交流センター施設維持管理事業	市民活動課	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の導入については、制度の目的や指定管理者のメリット、採算性など考慮のうえ、改めてその可能性について検討するとともに、平成26年度に実施する枚方市立メセナひらかた会館の指定管理者の募集時に本施設を含むことができるかの検討も併せて行う。 ・利用率の低い調理室については、他施設の状況も見ながら、利用方法の検証および利用率向上の対策案を検討する。 ・本施設の利用団体は、スポーツ団体や高齢者団体が多く、これまでも子育てサークルの利用はなかったことから、プレイルームへの改修については、慎重に検証し判断する必要があると考える。また、喫茶店等の民間委託については、施設の立地環境や他施設で喫茶等の撤退があるという現状からは馴染まないと考える。 ・施設の今後のあり方については、全市的・長期的視点から協議を進めていく。 ・本施設は特定地区住民のための施設ではなく、利用についても、1団体につき1ヵ月あたり8区分までと規定しており、特定の団体にサービスが偏っているとは考え難い。 	平成24年度 二次・三次対象事業

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
6. 地域サービス事務	市民課	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付については、平成25年度の実施に向けて取り組んでおり、今後も事業拡大に向けた検討を行う。 ・支所やサービス・コーナーのあり方を含めた地域サービスについても検討を進める。 	平成24年度 二次対象事業
7. 人事考課制度運営事務	人事課	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課の結果を職員個々のキャリア形成に効果的かつ継続的に活用していけるように、経年の考課結果を研修履歴など他の職員情報とともに管理できるシステムを現在試行しており、今年度中の本格導入を見据えている。 	平成24年度 二次対象事業
8. 職員福利厚生事務	職員課	<ul style="list-style-type: none"> ・「オーナーズビラ」については、会員制福利厚生施設と事業内容が重複する部分もあり、処分も含めた検討を引き続き行う。 ・福利厚生事業の目的である職員の元気回復につながる効果的なプログラム内容を企画・立案するとともに、各事業のバランスや費用対効果などについても引き続き検討を行う。 	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
9. 職員被服等貸与事務	職員課	<ul style="list-style-type: none"> ・事務服の貸与については、事務服の位置づけを明確にしつつ、そのあり方についてさらなる検討をすすめていく。検討に活かしていくため、他市事例における問題点や効果について研究するとともに、事務服着用の実態やコスト面、見直した場合の服務規律や市民サービスへの影響などを踏まえ、被服全体のあり方の議論の中で検証していく。 	平成24年度 二次・三次対象事業
10. 総務管理事務	総務管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・コールセンターの導入に合わせた検討事項の中で、代表電話の交換業務を委託した場合などのコストの比較や分析を行い、今後の運用方法を整理し、具体化していく。 	平成24年度 二次対象事業
11. 生涯学習市民センター学習支援事業	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報プラザについては、NPO法人に運営委託している。また、平成24年度から高齢社会室所管「生きがい創造学園」の実施場所として利用率も向上させている。今後もより、効率的な運営について検討していく。 	平成24年度 二次対象事業
12. 文化観光協会負担金交付事業	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・改善に向けた協議の中で、事業の取り組み報告と合わせて事業検証と改善方策を求めていく。 	平成24年度 二次対象事業
13. 文化観光協会活動補助事業	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひらかた観光ステーション」のオープンに伴い、全市的な観光発信を効率的に推進できるような体制づくりを図っていく。 	平成24年度 二次対象事業

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
14. 文化振興事業	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> 将棋イベントについては、子ども達の夢を育みながら効率化も図るよう取り組んでいく。また、漢字クイズ大会については、クイズ大会という形式にこだわることなく、より効果的、効率的に実施するため事業手法の見直しを行う。 <p>[予算削減額]：216千円 漢字クイズ大会の実施手法を見直したことによるもの。</p>	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
15. 産学公連携フォーラム開催事業	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 直接的な利益を求めない啓発型フォーラムであるため効果測定については困難な部分もあるが、地域活性化支援センターにおける経営相談の中から事業者の声を拾い上げ、成果目標に沿った事業実施に努める。 	平成24年度 二次対象事業
16. 経済交流販売事業補助事業	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 市内小売店舗の活性化を図るために個店の販売参加店舗数の増加に努めるとともに、事業の申請受付、交付決定、実績報告時における提出書類の見直し等、事業効果測定方法の見直しを検討する。 	平成24年度 二次対象事業
17. 地域活性化支援センター運営事業	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 起業希望者の情報収集に取り組むとともに講座・セミナーの参加者にはアンケートを実施しており、また事業者の経営相談対応を踏まえて成果目標に近づく効果的な事業を行っていく。 	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
18. 枚方市商業振興事業補助事業	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容の検討及び施策の効果検証に留意し、今後も引き続き、関係団体と協力しながら市内商業の活性化に努める。 	平成24年度 二次対象事業
19. 商店街等活性化促進事業（補）	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 商店街訪問を通しての实地に即した実態把握及び効果検証が可能となる指標設定等によって、費用対効果に留意した制度構築に努める。 	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
20. 健康福祉フェスティバル開催事業	健康総務課	<ul style="list-style-type: none"> 「健康医療都市」を目指す取り組みの一環として、名称を「健康・医療・福祉フェスティバル」と変更するとともに、事業内容についても、新たに設立した「健康医療都市コンソーシアム」とも連携した取り組みを実施する。 	
21. 生活保護受給者自立支援事業	生活福祉室	<ul style="list-style-type: none"> 就労が可能である保護の申請者には、就労することが保護の要件であることを十分に説明し、原則的には申請と同時に就労支援事業への参加を促し、早期の就職実現を目指す。 	平成24年度 二次対象事業

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
22. 敬老事業	高齢社会室	<ul style="list-style-type: none"> ・【敬老事業】これまでから、訪問対象者の縮小や印刷などの経費節減に努めてきている。今後、市民ニーズの把握とともに、他市取組内容も参考に、より事業目的に沿った取り組みとなるよう研究していく。 ・【敬老記念品配布事業】対象者については、当初（平成6年度）の「古希、喜寿、米寿、白寿」から、現在（平成17年度～）の「米寿のみ」と一定の整理を図ってきた。また、「コストの比較・分析」等については、府内他市と比較しても過重なものではないと考えている。高齢者を敬愛し長寿を祝う事については、本人やご家族の方の声をお聞きして、より多くの方に喜んでいただけるよう努める。 	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
23. 介護予防普及啓発事業	高齢社会室	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険法及び地域支援事業実施要綱において、介護予防事業、包括的支援事業及び任意事業は明確に区分されており、「統合」は困難と考えている。しかし、包括的支援事業を中心に行っている地域包括支援センターにおいても、地域での高齢者からの各種相談等の対応をおこなう中で、介護予防事業につなぐ、又は、センター自ら介護予防普及啓発事業を実施することで、相談窓口としての周知や介護予防事業参加後のフォローにつなぎやすくするなど、すでに連携した取組みをしているところである。今後も高齢者が、健康から介護へと変化していくという視点も含め、それらに関連する事業との連携、調整を図り、より効果的、効率的な取組みとなるよう努める。また、事業の実施にあたっては、各種講座等の終了後、参加者の行動や意識がどのように変容したかを、一定期間後にアンケートを行うなど、事業効果の検証を行うとともに、啓発事業についても、より事業内容をわかりやすく示すなど、一人でも多くの方に参加していただけるよう努める。 	平成24年度 二次・三次対象事業
24. 高齢者鍼灸マッサージ事業	高齢社会室	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者自身が、健康の保持、重篤化・慢性化の予防のために必要なものとして実施している。一方、ヨガなどについては健康増進策の一つとして介護予防普及啓発のための講座で実施している。しかし、事業開始（平成3年度）以来、実施期間、回数、施術費用などの変更を行ったものの、既に20年以上経過しており、この間、介護保険制度による介護予防事業の創設、普及など、高齢者を取り巻く環境が大きく変化してきている。今回の意見も踏まえ、今後、年齢等の利用者状況や施術内容、また、その効果等について検証を行い、より効果的な健康施策としての事業内容となるよう検討していく。 	平成24年度 二次・三次対象事業

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
25. シルバー人材センター事業費補助事業	高齢社会室	<ul style="list-style-type: none"> 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条で、地方公共団体が努めるものとされている「就業を通じた高齢者の生きがいづくり」を目的とした同センターへの支援は必要と認識している。しかし、法人の自立運営を促進する観点から、補助対象経費を精査し、その明確化を図っていく。 <p>[予算削減額]：687千円 補助対象経費を見直したことによるもの。</p>	平成24年度 二次対象事業
26. ファミリーサポートセンター運営事業	子育て支援室	<ul style="list-style-type: none"> サービスの相互援助活動を行うための会員組織の運営を行うが、民間の持つ特性やノウハウを生かし、多様な保育ニーズに幅広く対応していくために地域子育て支援拠点事業とともに、委託による運営を行い、本市における地域子育て支援事業のさらなる充実をめざす。 	
27. し尿処理業務	淀川衛生事業所	<ul style="list-style-type: none"> 下水道整備の進捗状況により、し尿及び浄化槽汚泥の搬入量の推移を見極め、効率的なし尿等の適正処理を行う。また、処理施設は、稼働後約20年が経過し、老朽化が進んでいるため、新たな処理方法への移行時期までの間は、現行体制で継続して適切な施設整備に努める。 <p>[予算削減額]：6,577千円 委託業務の発注方法を見直し、類似事業を統合したことによるもの。</p>	平成24年度 二次対象事業
28. プラスチック製容器包装類の資源化事業	減量業務室	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック製容器包装類については、多種多様な製品があり、どの製品が対象物かわかりにくいのが現状であるため、分別方法や資源化の仕組みなどについて、より効果的な周知啓発に取り組む。また、効率的な収集体制の確立を図る。 	平成24年度 二次対象事業
29. 枚方宿地区まちづくり協議会支援助成事業	都市整備推進室	<ul style="list-style-type: none"> 協議会助成には活動支援助成(100万円)と街道菊花祭助成(100万円)があり、市民協働型まちづくりの先駆的地区として助成の有効性を高く評価している。助成の必要性については、共に活動の継続に向けて運営の資金繰りを見極める必要があると考えるため、協議会の法人化まで継続すべきと考える。街道菊花祭助成においては、「ひらかた菊音楽祭実行委員会」が枚方フェスティバル協議会に参画することで一部改善が見込める。 	平成24年度 二次対象事業
30. 花に囲まれたまちづくり推進事業	公園みどり課	<ul style="list-style-type: none"> 市立小中学校や幼稚園などの緑化を推進し、他の事業等と一体的な取り組みで、事業の拡充を図っていく。また、公園アダプト制度の推進や自治会等の参加による花壇管理の拡充を図り管理経費の負担を軽減するように努める。 市民との協働については、店先にある街路樹を花で彩ることによる恩恵を受けることによるため、企業や商店に管理依頼を進め、事業の効率化を図っていく。 	平成24年度 二次対象事業

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
31. 駐車場案内システム維持管理業務	交通対策課	<ul style="list-style-type: none"> 市駅周辺の駐車場や共通駐車券の利用状況、めいわく駐車の状況を継続的に観測するとともに、大阪府及び枚方警察署とシステムの運用に関して定期的に意見交換を行う。 コミュニティパーキング共通駐車券システム事業に参画の店舗・駐車場からの意見や要望の聴取等に取り組む。 	平成24年度 二次対象事業
32. 交通対策協議会補助事業	交通対策課	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付については、「枚方市補助金等交付規則」及び「枚方市交通対策協議会に対する補助金交付要綱」に基づき交付している。 補助金の対象となる経費は、交通対策協議会の事務局職員の人件費、交通事故をなくす運動推進に伴う物件費等となっている。毎年、要綱に基づいた事業計画の提出を受け、内容審査の上、交付額を決定している。なお、今後も啓発看板等や各種大会運営経費等の物件費については、交通事故をなくすため、より効果的・効率的な内容となるよう検討をすすめる。 	平成24年度 二次対象事業
33. (仮称) 自然環境保全活用事業	東部整備課	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年の策定を目標にした基本構想では、当該用地の地形等を考慮しながら市民が自然と触れ合う場や周辺環境と調和した緑豊かな土地利用を図っていく。類似事例として、和泉葛城山ブナ林保全事業や大阪府共生の森事業等の市民、ボランティア、NPOが活動の中心となった先進事例を参考に調査研究を進める。 	平成24年度 二次対象事業
34. 上下水道局福利厚生事務	上下水道経営課	<ul style="list-style-type: none"> 現在、事務服については、平常勤務職場における安全性の確保及び職員であることを明確にして円滑な公務サービスの提供を目的に貸与を行っている。今後、事務事業総点検の評価を受け、市長部局と調整を図りながら、上下水道局被服検討委員会において、事務服の位置づけや必要性などの検討を行う。 	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
35. 水道管路等管理事務	給水管理課	<ul style="list-style-type: none"> 工事完成図面作成要領の制定及びシステムの一部改修を行い、ファイリングデータ作成及び経年変化修正業務のコスト削減を図る。 <p>[予算削減額]：12,966千円 平成24年度現在、委託をしているファイリングデータ作成業務、経年変化修正業務をアルバイト対応に見直したことによるもの。</p>	
36. 私設メーター取替費用補助事業	お客さまセンター	<ul style="list-style-type: none"> 水道メーターの市場価格及び消費税増税等の状況を踏まえながら、適正な助成金額の検討を行う。 従事職員については、再任用職員を充てるなど、人件費の削減に努めていく。 	平成24年度 二次対象事業

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
37. 学校園校務員業務	教育総務課	・複数の小中学校で構成されるブロック単位での環境整備の取り組みを深め、知識・技能の継承や効果的・効率的な運用が継続的に行えるようブロック内での正職員とその他の任用形態の職員の適切な配置について検討を行う。	平成24年度 二次対象事業
38. 通学路等安全対策事業	教育相談課	・市教育委員会が警察や道路管理者と合同で実施している通学路の安全点検の結果を踏まえて、交通指導員等が実効的な配置となるよう検討を行う。	平成24年度 二次対象事業

②「現状のまま継続」・「改善」から「休・廃止」とした事業【3事業】

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
1. IS09001運用推進事務	行政改革課	<p>・平成25年度は、IS09001の認証取得を継続せず、これまでの取り組みの一部事務を簡素化したうえで暫定運用を行うとともに、本市独自のマネジメントシステム構築に向け、その仕組みを検討する。なお、平成26年度以降の取り組みについては、新行政改革大綱に基づく新たな行政経営システムの構築にあわせ、「部の運営方針」の一項目として設定する事務改善活動の中で、職員提案制度との一体的な改善・再構築を行うことも、あわせて検討する。</p> <p>[予算削減額]：840千円 IS09001の取り組みを見直し、次期の認証更新を行わずに新たな取り組みを進めることによるもの。</p>	平成24年度 二次対象事業
2. 大阪ビジネスEXPO支援事業(補)	産業振興課	<p>・総合的な事業者支援をめざし、北大阪商工会議所への委託事業の整理を行うとともに、本事業を廃止し、より効果的で効率的な中小商工業者支援の検討を行う。</p> <p>[予算削減額]：2,000千円 本事業を廃止し、既存事業における中小企業間の交流促進の充実等を図ることで、より効果的で効率的な中小商工業者支援を図る。</p>	平成24年度 二次対象事業
3. 中小企業情報発信支援事業	産業振興課	<p>・事業開始から3年が経ち、本事業は市内企業の情報発信に関して一定の役割を果たしたため、本事業を廃止し、より効果的で効率的な中小商工業者支援の検討を行う。</p> <p>[予算削減額]：6,000千円 本事業を廃止し、既存事業における情報発信機能を強化することで、より効果的で効率的な中小商工業者支援を図る。</p>	

③平成24年度に事業完了となったため「休・廃止」とした事業【3事業】

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
1. くらわんか産業いきいきイベント事業(65周年事業)	地域振興総務課	・産業総合イベントとして、平成24年11月10日(土)、11日(日)に淀川河川公園で開催。周年事業のため、平成24年度限りで終了。	
2. リサイクル工房整備事業	減量業務室	・平成24年度末に整備工事が完了する。	
3. 学校園施設耐震補強事業	施設整備室	・公立学校施設の耐震化率100%を目指し取り組んできた耐震改修は、24年度に実施した単独調理場の改修工事を以て、本事業は完了した。	

④「改善」から「現状のまま継続」とした事業【5事業】

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
1. 市立くすの木園管理運営事業	障害福祉室	・現在、指定管理者による利用料金制により、事業者報酬、利用者負担で運営しており、市の負担は発生していない。民営化を図る上で、立地する土地の分筆、進入路の拡幅整備や必要な施設改修などの費用負担の課題もある中で、当分の間、指定管理者制度を継続しながら、引き続き、周辺施設の状況等も勘案しながら、今後の施設の在り方を検討していく。	平成24年度 二次対象事業
2. 包括的支援事業	高齢社会室	・市の高齢者保健福祉計画においても重要と位置づけている「地域包括ケアシステム」の構築の中心となる地域包括支援センター業務については、今後とも充実していく必要があり、高齢者人口や相談件数の増加、相談内容の複雑化から、金銭的な効率化は困難であると考えている。しかし、事務の効率化、業務の公平・公正性は重要であり、地域包括支援センター運営等審議会でも検証していく。	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
3. 高齢者外出支援カード配付事業	高齢社会室	・本事業は、非課税の69歳以上の高齢者を対象に、経済的な理由で外出を控えることがないよう支援し、社会参加を促進することなどを目的に実施しており、平成22年度及び23年度のアンケート(対象:65歳以上)結果では、約6割が本事業を「必要である」との回答があり、市民ニーズは一定把握している。また、平成22年度からは、スルッとKANSAI Kカードが購入可能となり、配付対象者の30%以上の利用があることから、効果的な事業と考えているが、外出を啓発する案内広告をすることで、事業効果を高めるとともに、広告料収入の確保など経費節減にも努める。	平成24年度 二次対象事業

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
4. 楽寿荘維持管理事業	高齢社会室	・指定管理制度の活用については、現状の運営形態の方が、より効率的な運営が実現できているため、現状の運営形態を継続していくが、施設の一層の利用促進に向けた取組みを検討していく。	平成24年度 二次対象事業
5. 学校園施設等管理運営事業	学校規模調整課	・学校園関連用地については、所管替えまたは処分することを基本とし、それまでの間は引き続き有効活用を図っていく。	平成24年度 二次対象事業

⑤その他、見直しを当初予算に反映した事業【5事業】

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
1. FM 放送活用事業	広報課	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の情報発信の方策として、現状では臨時放送設備機材の定期的な点検や操作訓練を行っている。今後は実際の放送による訓練が行えるよう関係機関に働きかけるなど、さらなる情報発信体制の強化に取り組む。また、来年度以降本市で実施する防災行政無線のデジタル化に合わせ、危機管理室等市関係機関との連携をさらに強化し緊急体制の再構築などを行う。 ・厳しい財政状況が続く中で、放送委託料の見直しを順次行うなど、さらに効率的な予算執行に取り組む。また、今後市からの放送委託料が削減されても、市以外のスポンサー拡充などの経営努力でFM ひらかたが会社として維持していけるよう、「経営戦略プログラム」の策定をFM ひらかたに求め、魅力ある番組作りに加え、自主財源の拡充策・経費削減策を構築することで、経営の自立性を高めていけるよう助言していく。 <p>[予算削減額] : 4,353 千円 FM ひらかたへの番組制作・放送委託料の削減によるもの。</p>	平成 24 年度 二次・三次対象事業
2. エコオフィス推進事務	環境総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動の一層の推進と更なる事務の効率化を図ることを目的に本市の組織体制や活動内容に適した環境マネジメントシステムを構築する。 <p>[予算削減額] : 1,110 千円 ISO14001 環境マネジメントシステムの認証取得等の見直しを行うことによるもの。</p>	平成 25 年度 二次対象事業

事務事業名	所管部署名	取り組み内容	備考
3. 環境ネットワーク会議運営補助事業	環境総務課	<ul style="list-style-type: none"> 今後も自立化に向けた財源確保の努力を促すとともに必要な支援を行うことにより、補助金を削減する。 <p>[予算削減額]：784 千円 補助金対象事業を見直し、交付額を減額したことによるもの。</p>	
4. 区画整理支援事業	都市整備推進室	<ul style="list-style-type: none"> 楠葉中之芝地区については、平成 24 年度事業計画認可を目指す。 津田南地区については、平成 24 年度から公共・公益施設管理引継処理を行い、平成 25 年度事業完了を目指す。なお、事業施行のための協議・調整及び技術的援助を行うに当たっては、施設使用料減免施設を利用することにより、使用料及び賃借料に係る経費節減を図る。 <p>[予算削減額]：5 千円 事業施行のための協議・調整及び技術的援助を行うための場所は、施設使用料減免施設を利用することによるもの。</p>	
5. 成人祭（はたちのつどい）事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 9 月の事業仕分において、ゼロベースで見直す意での「廃止」の評価を受けたため、成人祭見直し検討委員会を立ち上げ検討を行い、平成 25 年 1 月実施の成人祭から反映させているもの。 <p>[予算削減額]：370 千円 スペシャルビデオレターの廃止等によるもの。</p>	